



# 青年の覺悟

吉田 松雄

筆者は過般平町役場吏員より、滿洲國經理官に就任した人、この一文は在平當時に於ける寄稿の稿本である。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

無抵抗の觀念。キリストは「右の頬を殴られたら左の頬を出せ」と言つた。無抵抗の觀念の中に愛の抵抗の觀念を説いたのである。無抵抗といふ、抵抗といふの解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

無抵抗の觀念。キリストは「右の頬を殴られたら左の頬を出せ」と言つた。無抵抗の觀念の中に愛の抵抗の觀念を説いたのである。無抵抗といふ、抵抗といふの解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

無抵抗の觀念。キリストは「右の頬を殴られたら左の頬を出せ」と言つた。無抵抗の觀念の中に愛の抵抗の觀念を説いたのである。無抵抗といふ、抵抗といふの解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

無抵抗の觀念。キリストは「右の頬を殴られたら左の頬を出せ」と言つた。無抵抗の觀念の中に愛の抵抗の觀念を説いたのである。無抵抗といふ、抵抗といふの解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

無抵抗の觀念。キリストは「右の頬を殴られたら左の頬を出せ」と言つた。無抵抗の觀念の中に愛の抵抗の觀念を説いたのである。無抵抗といふ、抵抗といふの解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

行發日六十二月一十

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

他人の批評は兎も角、それが正しい結果であれば、それが正しいと我々青年は、年々「悪血」と「悪心」とに苦しめられて、勝手進歩の氣概を示して取り返しのつかぬ後悔をすることがある。真の隠忍自重には後悔は伴はぬ。而して決して「氣概」なるものを示す時機は、おぼえず時機をおくらしめては焦つて行つた氣概の發揮は十中八九は誤解を伴ひ後悔に終る場合が多い。隠忍自重から了解される。自分の特質と長所と短所とを公平な他人から見せらるゝ。若し隠忍自重に隠忍自重を何回となく重ねて、所詮光明が見出される時は、男子の面目を立てるべく敢然として「氣概」を遺憾なく發揮すべきである。

の丘  
仲上より聲かけられぬ  
月の橋  
死  
好問 鈴木欣々子  
漢千鳥すてに吐く血が  
千鳥鳴く夜は深まれり  
死の床に  
千鳥なくベットの佛お  
かみけり  
深む夜の落に布團燒き  
捨てぬ  
布團燃ゆる人のあふらに  
しよりのつ

つて行く  
あの僅で若上達しやう  
とした時、また躍り出た  
驚の爲めに若者は危く  
が、突如片腕を上げた  
か仰向けに反けぞつて  
「うわ、は、は、は、」  
稍離れた手岩の上から  
快な笑が俄に起つた。射  
手の名人が狙つた矢が  
の黒雲を貫いたのだ  
太郎がそれを望み見て  
塔する間もなく、又も  
出た黒雲の二番手が確  
岩上を占領した若者に  
ついで来た  
二つの黒いものは急  
格闘に移つた  
「撃て」  
うすれ行く夕日の色の  
寒々と、草枯山のつ  
く街道  
松村 英  
眞誠枯れて響きに鈍  
日の當る  
合 月

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ

山ノ怪秘  
戸隠 丸山寛雄 作  
奇譚 (48) 眞木 浪 書  
山上の合戦 (四)  
ついで太郎は、その後  
によち登る若者を選んだ。  
若者はもう念頭に進むとい  
ふ一事より他には何もも  
ない  
例によつて手がかりの危  
険な岩肌へ、些細な凸凹を  
便つて身を揺らすやうに上  
がらぬに光る  
じつと此奴を見てゐると  
僕は、朝鮮に渡つた京次君  
を思ひ出す。その頃、お湯  
へはいつたのを見たも  
誰もなかつた。それと  
府の色は、艶々と美しく  
京次君は、本當に、う  
はさの如く両性であつたか  
どうか  
熊  
何んにも知らない癖に、  
何んでも返事をしやがる。  
僕が言ふ  
熊の胃のあの苦い味が  
薬だつてさ



磐城代表的の土産品  
山。靈峰羊羹。里。楠羊羹  
海。のり羊羹。各一本金十  
右美麗三本箱入 特價三十  
御旅のお出入に便宜な手頃のお土  
産品です  
小川 郷 製  
製造發賣元  
平屋賣店

磐城共済病院  
内 科 石山 謙一郎  
小 兒 科 石山 謙一郎  
婦 産 科 石山 謙一郎  
外 科 石山 謙一郎  
皮膚泌尿器科 石山 謙一郎  
花柳病科 石山 謙一郎  
X光線科 石山 謙一郎  
衛生試驗所 石山 謙一郎  
藥 局 石山 謙一郎

自轉車ノ月賦販賣  
御通知次第御伺致シマス。  
エビスヤ自轉車店  
平町南町電六六四

流行シヨール陳列  
防縮防虫毛メリヤス製品 陳列  
特許眞綿人毛メリヤス製品 陳列  
ツルヤ  
平四 電一四〇

美味で評判の  
イワキサロン  
平町電三三二

株式買収、債權取立  
合資三共商事  
平町大町電三六〇

磐城共済病院  
内 科 石山 謙一郎  
小 兒 科 石山 謙一郎  
婦 産 科 石山 謙一郎  
外 科 石山 謙一郎  
皮膚泌尿器科 石山 謙一郎  
花柳病科 石山 謙一郎  
X光線科 石山 謙一郎  
衛生試驗所 石山 謙一郎  
藥 局 石山 謙一郎

貨切の御用命は「  
尼子タクシー」へ  
六四〇番  
御願致します  
長距離は御相談に應じます

井坂 醫院  
婦 産 科 午前宅診  
午後往診  
入院應需  
花柳病科 入院應需  
平町田町  
電話五五九番

東京電機株式會社  
マツタ會聯盟  
毎度各別の御引立に預りまして難有  
御禮申上ます。  
扱て燈下親しむの秋明るく經濟なマツタ  
ランプは自十一月十五日の期間中一  
ランブは至十二月三十一日の期間中  
毎にマツタ會聯盟各名入の粗品を差上  
げることになりました。これは前にも  
申上げました通り再製不良品を安く販賣するも  
のがありますので之等と區別して戴き度い心根  
て御座います。宜敷此の區別にマツタランプの眞  
價を御認め被下接併せて御願致します。

吉田眼科病院  
平町紺屋町 電話六八番  
吉田 久 雄

良品廉賣に勝る商略なし  
磐城セメント特約代理店  
金物問屋  
釜屋商店  
磐城國平町五丁目  
電話九番 九九番  
振替貯金口座東京一〇九五六番  
確實敏捷は「  
の生命なり

入院隨意(自炊の便あり)  
外科 線 科門  
上田醫院  
病室完備 (電話 二二九)

磐城共済病院  
内 科 石山 謙一郎  
小 兒 科 石山 謙一郎  
婦 産 科 石山 謙一郎  
外 科 石山 謙一郎  
皮膚泌尿器科 石山 謙一郎  
花柳病科 石山 謙一郎  
X光線科 石山 謙一郎  
衛生試驗所 石山 謙一郎  
藥 局 石山 謙一郎

月曜論壇

鐘紡工場設置促進について
本紙の極めて率直なる意見に對し、賢明なる町當局が根本から偏狹狹介なる態度を捨て、之に聽從の雅儀を示し或種の運動工作に入つた事は、其間事の確率如何は姑く論外として、所謂人事を悉くして天命を待つなればならぬ善なる町理事者として當に履むべき道程とし、敢て老舊工廠を撤去せしめ、取替へる旨の町長以下町職員諸公に對し衷心敬意を表するものである、而も問題の歸趨は、該企業上要求する種々の條件に適合するかによつて決せらるるものと、此際町當局の大高所から眼前の小利に拘泥せざるが如き所要地主の態度等を先決とするが、要は全町民の誠意を條件とするもので、町將來の産業資源たる該事業を町に迎へんとするに先づいて之を獲る前に何物を與へんとする最確實の投資を取らねばならぬ、然し資本は生産上不可缺の一要素であるが、機械性を拂はすしての生産企業は蓋し最初から必要な理論の根據を欠くものであつて、斷じて文化國民の鑑賞出來ぬ一大迷妄である、信受する大町町民に之の態度ありや否、之に據つて徐に事の成否を卜ひ度いと思ふ

社長の東上を待つて 極力諒解運動を進む 鐘紡工場實現促進本格化

縣下一市町四から引つ張りの態に拘らず石炭安其他の好條件に恵まれ最も有望に展開してゐる鐘紡工場設置問題は青沼町長の東京本店訪問により愈々實際化の域に入つたので町では一昨二十四日午後二時から委員會を開き協議の結果、神戸津田社長、及東京丸山工場長に請願書を送り津田社長が東京の關係者も上京社長の腹を的確に極力運動する事になつた

町でも若干 補償の意が

鐘紡工場設置に就ては、所要敷地の買収が第一の先決問題と見られてゐるが町附近には昭和八年前の地籍調査の結果、買収価格低廉にして而も工場敷地たる利用價值に於て田畑等と大差無き荒地が無く從つて之を買収費の増大を幸す爲に問題の好轉を阻害する場合あるべく、町に地主のみに機械性を拂はしむる事が出來ぬので其の場合には町でも若干の補償に出るで無いかと觀する節がある

自動車設置方陳情 受検場設置内協議會

預三部を一元とする自動車會社を提出する事になつたが検査場設置問題は既報の如きが經費は總額三千五百元(場所)大体町八幡小路西側内検査場器具費二千五百元(警備)グラウンド跡に選定(土地建物其他)千圓に概算(器具)千圓に計したる今二十常務として毎年五百圓を要六日午前十時から常務會議するもので實現後は受検場としてに於て平、四倉、植田、來約二日間位を要したる、町民の自動車者聯合總會及二部の當業者は少からざるを以て寄附金分擔方法其他助かるわけを期待してゐる

陸上諸競技では 本郡壓倒的に大勝

昨日の教員對抗戦成績
陸上諸競技
△砲丸投 1佐藤兼介(石) 2西牧(石) 3西牧(石) 4大野(石)
△走り高 1丹野富士男(石) 2大野(石) 3佐藤兼介(石) 4北見(石)
△二百米 1草野(石) 2二四秒(石) 3黒澤(石) 4小林(石)

両戦共入山優勝 庭野球に敗る

庭野球に敗る
庭野球に敗る
庭野球に敗る

好間軍再勝

好間軍再勝
好間軍再勝
好間軍再勝

モシモシ嬢

モシモシ嬢
モシモシ嬢
モシモシ嬢

不正米商退治 總數百三十五件

不正米商退治
不正米商退治
不正米商退治

魚族の産床に 古船三隻を沈む

魚族の産床に
古船三隻を沈む
古船三隻を沈む

腕自慢から傷害 仲裁人を殴る

腕自慢から傷害
腕自慢から傷害
腕自慢から傷害

内妻斬り陪審退 近く平支部で公判

内妻斬り陪審退
内妻斬り陪審退
内妻斬り陪審退

義金醸出 腕自慢から傷害

義金醸出
腕自慢から傷害
腕自慢から傷害

肉聲の最高峰!

肉聲の最高峰!
肉聲の最高峰!
肉聲の最高峰!

魚族の産床に

魚族の産床に
魚族の産床に
魚族の産床に

安藤氏長逝

安藤氏長逝
安藤氏長逝
安藤氏長逝

給仕二名募集

給仕二名募集
給仕二名募集
給仕二名募集

セメントト瓦

セメントト瓦
セメントト瓦
セメントト瓦

吸人用酸素

吸人用酸素
吸人用酸素
吸人用酸素

阿部石炭商店

阿部石炭商店
阿部石炭商店
阿部石炭商店

開内薬局

開内薬局
開内薬局
開内薬局

玉コークス炭

玉コークス炭
玉コークス炭
玉コークス炭

阿部石炭商店

阿部石炭商店
阿部石炭商店
阿部石炭商店

電話三七番

電話三七番
電話三七番
電話三七番